

令和元年8月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

輸出額は「石油製品」などは増加したものの、「鉱物性タール及び粗製薬品」、「有機化合物」などが減少したことから、伸率（対前年同期比）6.9%の減少となった。また、輸入額は「生ゴム」などが増加したものの、「原油及び粗油」、「液化天然ガス」などが減少したことから、同31.8%の減少となった。

これにより差引額は、592億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	658億円	▲6.9%	1,249億円	▲31.8%	▲592億円	▲47.4%
	4カ月連続の減少		2カ月連続の減少			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1)石油製品	105億円	+93.4%	輸入	増加品目	(1)生ゴム	25億円	+24.3%
		(2)自動車	11億円	+371.7%			(2)鉄鋼	16億円	+42.7%
		(3)科学光学機器	35億円	+14.0%			(3)粗鉱物	3億円	12倍
	減少品目	(1)鉱物性タール及び粗製薬品	26億円	▲37.0%		減少品目	(1)原油及び粗油	706億円	▲26.4%
		(2)有機化合物	47億円	▲20.5%			(2)液化天然ガス	199億円	▲47.7%
		(3)プラスチック	50億円	▲12.1%			(3)石油製品	59億円	▲42.6%
地域別動向		増加：大洋州 減少：アジア、西欧			地域別動向		増加：大洋州 減少：中東、アジア		

（参考）ドルレートは、107.21円（前年同月比3.7%、4.12円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。